



# 山形県立鶴岡工業高等学校

2026年1月19日(月)

## 山形県立鶴岡工業高等学校吹奏楽部

### —第60回記念定期演奏会—

県立鶴岡工業高等学校（斎藤秀志校長、生徒数 453 名）では、今年も鶴岡工業高校吹奏楽部定期演奏会を開催することとなりました。本校の定期演奏会は、今年で60回を数えます。長年の間とぎれることなく毎年定期演奏会を開催できましたが、今回は、第60回記念として、例年以上に幅広くOB・OGに呼びかけながら合同演奏を企画しております。

また、本校の前身である鶴岡町立鶴岡染織学校から数えて、創立130周年の節目となる記念の年ともなり、伝統ある校歌を2025年度版として編曲し初演いたします。編曲者は、近年数多くの吹奏楽曲を作曲されている松下倫士氏です。当日は、生徒有志及び関係者による合唱も交えた演奏になります。

なお、演奏にあたっては、「鶴エシルクプロジェクト」の一環として、伝統産業である絹で制作したスカーフを吹奏楽部及び関係者による着用も一部予定しております。

つきましては、標記演奏会を通して、本校の特色ある活動を、広く県民の皆様にお知らせする絶好の機会になりますので、事前並びに、当日に是非ご取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 記

- |         |                                                                                                                              |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 時   | 令和8年2月7日（土） 15：00（開場）<br>15：30（開演）～17：30（終演予定）                                                                               |
| 2 場 所   | 荘銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）                                                                                                             |
| 3 参 加 者 | 生徒・教職員、関係者、来場者 等 数百名～千名程度                                                                                                    |
| 4 企 画 名 | 山形県立鶴岡工業高等学校吹奏楽部<br>—第60回記念定期演奏会—                                                                                            |
| 5 演 奏 曲 | 日本管楽合奏コンテスト全国大会出場曲 「クァルテツ」<br>山形県立鶴岡工業高等学校校歌（2025年度版 編曲 松下倫士）<br>OB、OG合同演奏<br>POPSステージ 他<br>※校歌編曲者 松下倫士 氏のプロフィールは、別紙をご覧ください。 |
| 6 備 考   | ご不明な点、取材の際は下記担当までお問い合わせください。                                                                                                 |

山形県立鶴岡工業高等学校吹奏楽部 顧問 田村・百瀬・梅木

〒997-0036 鶴岡市家中新町8番1号

TEL 0235-22-5505 FAX 0235-25-4209A

# 編曲者紹介

## 松下 優士 氏

Tomohito MATSUSHITA



山形県立鶴岡工業高等学校の前身である鶴岡町立鶴岡染織学校から数えて 130 周年、そして吹奏楽部定期演奏会 60 周年という記念すべき年に、本校の校歌の編曲を手がけてくださるのは、国内外で高い評価を得る作曲家・ピアニストの松下倫士氏です。

1984 年高知県生まれ。東京都立小山台高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部作曲科および同大学院を修了。卒業時には「藝大同声会賞」を受賞されています。その後も東京音楽大学大学院で研鑽を積むなど、多岐にわたる分野でその才能と技術を磨き続けてこられました。

これまでに「日本交響楽振興財団作曲賞」をはじめ、数々の著名な作曲・ピアノコンクールで受賞を重ねるなど、その実力は多方面で高く評価されています。ピアニストとしても東京フィルハーモニー交響楽団と共に演奏されています。現在は、洗足学園音楽大学、東京音楽大学で後進の指導にもあたられています。

作曲活動においては、美しい歌心あふれる旋律と物語性豊かな世界観が特徴です。特に吹奏楽界では絶大な人気を誇り、吹奏楽コンクールにおける演奏団体数は年々増加。2016 年の 36 団体から、近年では 200 団体を超えるなど、全国の吹奏楽部で松下氏の作品が演奏されています。鶴岡工業高校吹奏楽部も、松下氏の楽曲を演奏することで、2022 年の県大会金賞受賞や 2024 年の日本管楽合奏コンテスト最優秀賞受賞など、輝かしい実績を残してきました。

松下氏には、これまで本校にもお越しいただき、生徒たちに温かいご指導を賜りました。お忙しい中、今回の編曲依頼を快くお引き受けくださったことに心より感謝申し上げます。

土井晩翠作詞、岡野貞一作曲という芸術性の高い本校の校歌が、松下氏の手により新たな息吹を吹き込まれ、今後何十年にもわたり歌い継がれる作品として生まれ変わることを確信しています。